

授業科目	L A1A 0 9	2 単位	選択	講義	1 学年 後期	担当教員	専任講師 佐藤 高博						
	ボランティア												
授業の概要	①ボランティアとは何かについて理解する。なぜボランティアをするのか、「自発性」とボランティアリズムについて学習する。 ②ボランティア活動の現状と課題について理解する。ボランティア活動の広がり、課題と動向について学習する。 ③ボランティア活動と社会福祉協議会、ボランティアセンター事業、災害ボランティアへの取り組みについて学習する。 ④ボランティア活動支援とボランティアコーディネーター、ボランティア組織の運営について理解する。 ⑤受講生がそれぞれのフィールドでボランティア活動を実践する一助となるように、ボランティア体験を行う。												
到達目標					学習成果Ⅰ			学習成果Ⅱ		学習成果Ⅲ			
					①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨
1. なぜボランティアをするのか、「自発性」とボランティアリズムについて学習し、ボランティアとは何かについて理解する。					◎			◎		○	◎	○	
2. ボランティア活動の広がり、ボランティア活動の動向について学習し、ボランティア活動の現状と課題について理解する。					◎	○	◎			◎			
3. ボランティアと現代社会について学習し、ボランティア活動と社会福祉協議会の役割について理解する。					◎								
4. ボランティアに期待される社会的役割について理解する。					◎			◎				○	
5. ボランティア活動支援とボランティアコーディネーター、ボランティア組織の運営について理解する。					◎	○						○	
凡例 ◎：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために特に重要な目標、○：学習成果Ⅰ～Ⅲを獲得するために重要な目標 査定項目①～⑨はVページ参照													
	主 題	準備学習	本時の学習内容と到達目標				復 習						
1	オリエンテーション 第1章「ボランティアとは何か」	シラバスの確認をする。教科書1～12ページを読み、第1章の概要を理解しておく。	授業内容と評価の方法について理解する。 なぜボランティアをするのか、「自発性」とボランティアリズムについて学習し、ボランティアとは何かについて理解する。				章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。						
2	第2章「ボランティア活動の現状と課題」	教科書14～24ページを読み、第2章の概要を理解しておく。	ボランティア活動の広がり、ボランティア活動の動向について学習し、ボランティア活動の現状と課題について理解する。				章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。						
3	第3章「ボランティアと現代社会」	教科書28～44ページを読み、第3章の概要を理解しておく。	ボランティアと現代社会について学習し、ボランティア活動と社会福祉協議会の役割、ボランティアセンター事業について理解する				章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。						
4	第4章「日本におけるボランティアの普及・推進の歩み」	教科書51～61ページを読み、第4章の概要を理解しておく。	日本におけるボランティアの普及・推進の歩みについて学習し、ボランティアの歴史について理解する。				章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。						
5	第5章「人と人のかわりー児童・障害者・高齢者ー」	教科書77～86ページを読み、第5章の概要を理解しておく。	児童・障害者・高齢者とのかわりについて学習し、ボランティア活動に期待される社会的役割について理解する。				章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。						

6	第 6 章「地域社会のボランティア」	教科書 92～102 ページを読み、第 6 章の概要を理解しておく。	地域社会を豊かにするボランティア活動事例を学習し、これからの社会に必要とされる地域社会のボランティアについて理解する。	章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。
7	第 6 章「地域社会のボランティア」	地域における図書館の役割とボランティアの関係について調べておく。	地域社会を豊かにするボランティア活動の事例として図書館ボランティアを取り上げ、図書館とボランティアの関係について理解する。	土浦市立図書館におけるボランティア実践を調べる。
8	第 6 章「地域社会のボランティア」	地域における図書館ボランティアの活動について調べておく。	図書館ボランティア活動としてどのような実践が行われているか、どのようなボランティア活動が求められているかを理解する。	図書館におけるボランティア活動として何ができるかを検討する。
9	第 6 章「地域社会のボランティア」	地域における図書館ボランティアとして何ができるか調べておく。	図書館ボランティア活動の実践紹介を通して、図書館ボランティア活動について具体的に理解する。	図書館ボランティアの意義と活動を整理する。
10	第 7 章「環境とボランティア」	教科書 107～119 ページを読み、第 7 章の概要を理解しておく。	環境とボランティアについて学習し、日本の環境活動、環境 NGO/NPO におけるボランティアについて理解する。	章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。
11	第 8 章「災害ボランティア」	教科書 123～132 ページを読み、第 8 章の概要を理解しておく。	災害ボランティアの多様な活動について学習し、災害ボランティアセンターとボランティアコーディネーターの役割について理解する。	章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。
12	第 9 章「国際ボランティア」	教科書 138～154 ページを読み、第 9 章の概要を理解しておく。	日本における国際ボランティアの背景と歴史について学習し、国際ボランティアについて理解する。	章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。
13	第 10 章「ボランティア学習」	教科書 161～175 ページを読み、第 10 章の概要を理解しておく。	ボランティア学習の成立する環境・条件について学習し、新しい社会づくりに資するボランティア学習について理解する。	章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。
14	第 11 章「ボランティア活動支援とボランティアコーディネーター」	教科書 180～194 ページを読み、第 11 章の概要を理解しておく。	ボランティア活動支援とは何かについて学習し、ボランティアセンターとボランティアコーディネーターの役割について理解する。	章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。
15	第 12 章「ボランティア組織の運営」	教科書 199～210 ページを読み、第 12 章の概要を理解しておく。	ボランティア組織の運営について学習し、個人活動から組織活動への変化、テーマ型組織の運営、エリア型組織の運営について理解する。	章末「読者の皆さんへの質問」に取り組み、学んだことを整理する。
成績評価	授業への取り組み (30%) 課題等の提出 (30%) 期末試験 (40%) 合計 100%			
教員からのコメント	この授業では、ボランティア活動について理解を深め、子どもとのかかわりや現場の状況を理解し、ボランティア活動を行う意義について学びます。また、実際にボランティア活動に参加し、ボランティア体験を通して、子どもに与えるボランティアの影響について理解することを目指します。ボランティアについて理論的、実践的に理解することで、市民がボランティア活動にかかわることと、子どもを社会で育てることの意味について理解しましょう。			
教科書	書名 ボランティア論 著者 柴田謙治・原田正樹 発行所 株式会社 みらい	推薦図書	書名 必要に応じて随時紹介する。 著者 発行所	